

原点回帰 ～ 胆力と心得 ～

2023年7月22日 KFC Hall & Rooms(東京都墨田区)での第12回『がん哲学外来コーディネーター養成講座 in 東京 原点回帰 ～ がん哲学外来へようこそ ～』に赴いた。会場は多数の参加者であった。九州、神戸、福井、静岡、神奈川、仙台、群馬、長野、千葉、さらに韓国のソウルからも出席されていた。筆者は第12回『がん哲学外来コーディネーター養成講座』実行委員長として、講演『主体的に隣人となる ～ 暇げな風貌 & 偉大なるお節介 ～』の機会が与えられた。

7月23日は、第11回『がん哲学外来市民学会浅草(東京)大会:いい覚悟で生きる!! “がん哲学と言葉の処方箋”』(雷 5656 会館(東京都台東区浅草))に出席した。

目的: 生きるということを語り合う

言葉の処方箋でつなぐ “がん哲学” の憩い

対象: がんとともに生きる人、家族、がん哲学を学びたい人、

がん哲学に興味のある人

と謳われている。筆者は、『一般社団法人がん哲学外来 名誉理事長』として、『開催の言葉』の機会が与えられた。

【勝海舟の屋敷があった赤坂で、講演に呼ばれた。『勝海舟の胆力 ～ がん哲学外来の心得～』は時代的要請となろう。母を亡くして悩んでいるクララに対して、勝海舟の奥さん(たみ)の言葉; 『悲しい時には 私達の所へいらっしゃい、一緒に泣きましょう、そしてあなたが 仕合せな時には 一緒に笑いましょう。さあ勇気をお出しなさい、— これから先の長い年月のことは考えず、今日という日以外には 日がないと思って ただ毎日をお過ごしなさい』は、「訪れる人を 温かく迎え入れる」原点でもあろう。】と述べた。さらに、『筆者の夢』を語った(添付)。

今回は、大変有意義な『愛がなければ 全ては無意味』を実感する『連チャン症候群の講演』の時となった。

第12回 がん哲学外来コーディネーター養成講座 in 東京

原点回帰 ～ がん哲学外来へようこそ ～

日時：2023年7月22日(土) 13:00～20:10 *現地開催
 場所：KFC Hall & Rooms 〒130-0015 東京都墨田区横綱一丁目6-1
 主催：がん哲学外来市民学会
 募集人数：100名 (対象者:本講座受講回数3回未満の方)
 申込受付開始：5月1日(がん哲学外来市民学会ホームページ<http://www.shiminzakkai.org/>)

【プログラム】

13:00～	開会挨拶	総合司会 伊勢崎市民病院病院長補兼外科診療部長 片山和久
13:05～	ガイダンス	がん哲学外来コーディネーター養成講座と「原点回帰」 がん哲学外来市民学会副代表 東海大学医学部内科客員教授 安藤 潔
13:25～	講演1	主体的に隣人となる ～暇げな風貌&偉大なるお節介～ 順天堂大学名誉教授 新渡戸福造記念センター長 恵泉女学園理事長 第12回がん哲学外来コーディネーター養成講座実行委員長 樋野興夫
14:05～	休憩	
14:15～	講演2	がん哲学外来から学んだコミュニケーションの心 フリーランス緩和ケア医師 がん哲学外来「大分ふくカフェ」店長 林 良彦
15:15～	休憩	
15:30～	グループワーク	テーマ：空っぽの器を用意して
17:30～	夕食	グループ毎
18:15～	グループ発表	司会： 浅井三姉妹がん哲学外来カフェ・福井済生会病院 車厘知美 がん哲学学校 in 神戸メディカル・カフェ 神戸薬科大学 横山郁子 *グループの発表時間は、5分以内(全発表終了後質疑応答まとめ)
19:40～	講評・認定証書授与	福井県済生会病院副院長 がん哲学外来市民学会認定制度委員長 宗本義則
20:05～	閉会挨拶	がん哲学外来市民学会副代表 伊豆医療センター地域ケア部長 北澤彰浩

【受講費】 学生会員 6,000円 一般 8,000円 (22日の夕食代を含む)

- 養成講座の会場は「KFC Hall & Rooms(10階 Room 10A)」です。
地下鉄都営大江戸線両国駅A1出口から徒歩0分。
- 宿泊に関しては各自でお手続きをお願いします。
- 養成講座は翌日23日に開催される「がん哲学外来市民学会第11回大会 in 浅草」の午前中のプログラムまでの参加を必須といたします。大会会場は5656会館(東京都台東区浅草3-6-1)です。アーカイブでの参加も可能です。養成講座に参加される方の大会への参加申込は市民学会事務局が取りまとめて行います。
- 受付された方には参加費振込先等をメールでお伝えします。振込完了をもって参加決定となります。
- お振込いただいた後にキャンセルされた場合、ご返金は致しませんのでご注意ください。
- 一部だけの受講または遅刻・早退につきましては修了証を発行することができませんのでご了承ください。
- 本講座を3回修了されると、「がん哲学外来認定コーディネーター」の認定申請資格を取得します。
がん哲学外来市民学会事務局に申請してください。(認定申請期間:11月1日～11月30日)
- 問合先メールアドレス がん哲学外来市民学会事務局 shimin@gantetsugaku.org

2023年7月23日(日) 10:00～15:35

- 場所** 雷5656会館 (東京都台東区浅草3-6-1)
- 目的** 生きるということを語り合う
言葉の処方箋でつなぐ“がん哲学”の想い
- 対象** がんとともに生きる人、家族、がん哲学を学びたい人、
がん哲学に興味のある人
- 参加費** 無料 アーカイブ視聴日程は別途お知らせします
- 定員** 現地開催100名 (開催後アーカイブ動画配信を致します)

PROGRAM

- 10:00 オープニングトーク 勝海舟記念下町(浅草)がん哲学外来 テーマ音楽とともにノをん
10:35 開催の言葉—— 樋野興夫先生(一般社団法人がん哲学外来 名誉理事長)
10:45 一般社団法人がん哲学外来 その歩みと今後(社団の活動紹介)
宗本義則先生(一般社団法人がん哲学外来 理事長、福井県済生会病院 副院長)
- 11:00 **基調講演1** **がん哲学へのいざない**
浅草の活動を通じて得た人のつながりとは
宮原富士子
基調講演2 **がん患者さんに知ってほしい地域の社会資源**
行政の制度
天野慎介氏
- 12:05 **がん哲学と言葉の処方箋 歴史と哲学の視点から 歴史の登場人物紹介**
東奥子先生(赤十字会空医館クリニック 院長)
江川守利氏(赤十字会一松会がん哲学外来メディカルカフェ、吉田福造記念北平住がん哲学外来メディカルカフェ)
- 12:30 お昼休憩
13:30 アトラクション
14:00 **特別講演 患者さんとお医者さん**
安達昌子先生(医療法人社団理恵会 さくら病院 理事/院長)
特別講演 浅草北部 山谷の人々のくらしの今と生き方から学ぶ
辻研秀典氏(特定非営利活動法人 友愛会 理事長)
特別講演 緩和ケアがふつうにある暮らし(台東区に生きる)
廣橋 猛先生(医療法人社団 がん総研支援-緩和ケアセンター) 副代表
- 15:10 浅草かんわネットワーク研究会の仲間たちの紹介
15:25 クロージング—— 宗本義則先生(一般社団法人がん哲学外来 理事長、福井県済生会病院 副院長)
15:30 次期大会長ご挨拶—— 次期大会長 武藤徳弘(京都府立医科大学分子療学的予防医学教授)
15:35 最後のご挨拶—— 宮原富士子
- 16:00 閉場 会場は16時まで開いてあります。
展示等をお見せしたいいたり、参加者同士の同窓にお会いください。



主催：一般社団法人がん哲学外来 がん哲学外来市民学会
 後援：特定非営利活動法人浅草かんわネットワーク研究会 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women

浅草(東京)大会

いい覚悟で生きる!! がん哲学と言葉の処方箋

第11回

がん哲学外来市民学会

《樋野先生の夢》

7人の侍：「勝海舟・新島襄・内村鑑三・新渡戸稲造・南原繁・矢内原忠雄・吉田富三」と先生の恩師：「菅野晴夫先生（癌研時代）、Alfred George Knudson 博士（アメリカ時代）」と樋野興夫先生とで天国でメディカル・カフェを開催すること。希望者はお茶係に採用して下さるはずです。

